

# 石狩市とは

## 位置と広さ

札幌市の北側に隣接し、石狩湾に臨む水に恵まれた環境にあります。江戸時代初期には河口部流域が「場所」(交易を行う範囲)に指定されたことや交通の要所であったことから、西蝦夷地の中心地として重要な役割を果たしてきました。近年は、石狩湾新港をベースにした国際的な文化・経済の拠点として、めざましい発展を遂げています。

総面積は722.33km<sup>2</sup>。東西28.88km、南北67.04kmに広がっています。西側一帯は石狩湾に接しています。

## 気候

北海道の中でも温暖で四季の変化に富み、台風の影響も極めて少ないのが特徴です。対馬海流の影響による海洋性気候で、春から夏、秋にかけてはしのぎやすく、冬期間の気温もマイナス10℃以下になることは少なく、気温較差もそれほど大きくありません。積雪も12月から3月頃まで、最深積雪は120cm前後です。

## 市名の由来

市名の「石狩」は、市内を流れる石狩川からできた名前です。先住民であるアイヌ民族の言葉で石狩川を指す「イシカラベツ」に由来しています。その意味は「曲がりくねって流れる川」また「神様が作った美しい川」と言われています。

石狩の花  
ハマナス



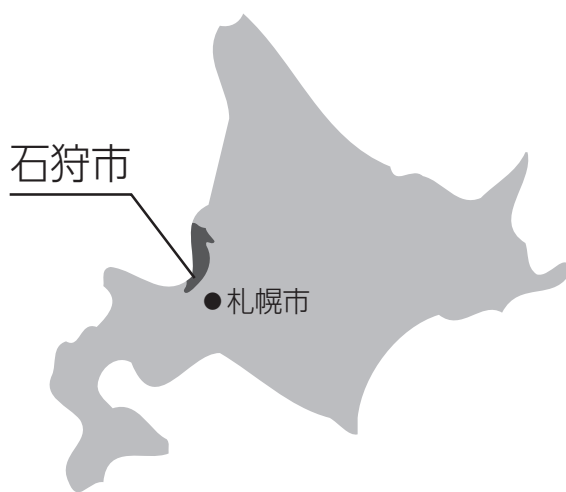
石狩の木  
カシワ



石狩の鳥  
カモメ



## 石狩市



## 市章

石狩の頭文字「I」を型どりながら、同時に市民と、その連帯、伸びゆく未来を指さす手を表します。また、全体では木、花、太陽を表現し、さらに石狩川と広がりのゆくまちを表現しています。



## 石狩鍋

北海道の郷土料理としておなじみの石狩鍋は、石狩市がその発祥の地です。サケの身のぶつ切りに、中骨などのあらを入れ、野菜は甘みを引き出すためにキャベツやタマネギを使い、豆腐、ツキコンニャクなどの具材と味噌を加え、最後にうま味を引き出すために山椒をかけるのが本場の「石狩鍋」です。



## 石狩市民憲章

### 前章 わたしたちは、母なる川にサケがのぼる石狩の市民です。

わたしたちの石狩市は、サケとニシン文化に象徴される歴史あるまちです。

日本海に沿って南北に伸びるこのまちは、広大な森と、海や山の幸に恵まれた豊かなまちです。

世界に開かれた石狩湾新港のあるまちです。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、力を合わせて新しい未来を拓くため、ここに市民憲章を定めます。

### 1章 ふるさとを愛し 自然をいかす 美しいまち

- ・花と緑にかこまれたきれいなまちにします。
- ・空と水と森のきれいな、うるおいのあるまちにします。
- ・防風林や名木をまちの宝として大切に保護します。
- ・日本海に沈む夕陽や美しい海岸線などの景観を大切にします。

### 2章 心もからだも健康で いきいき働く 元気なまち

- ・健康に気をつけ規則正しい生活をおくれます。
- ・ボランティア活動に進んで参加し自分をいかします。
- ・スポーツやレクリエーションを楽しみさわやかな汗を流します。
- ・産業をのびし豊かで活気にみちたまちをつくります。

### 3章 ともに考え学びあい 未来へ向かう 文化のまち

- ・芸術や読書に親しみ、心を豊かにしていきます。
- ・進んで学ぶ意欲を持ちつづけ自分を高めます。
- ・歴史に学び文化や伝統を守り未来をつくります。
- ・文化を通して世界の人々との交流の輪を広げます。

### 4章 きまりを守り 安全で安心できる 住みよいまち

- ・明るい家庭、良い習慣を育てます。
- ・歩行者も運転する人も交通ルールを守ります。
- ・いじめのない明るいまちをつくります。
- ・犯罪や危険のないまちをつくります。

### 5章 あいさつがひびく あたたかい 明るいまち

- ・思いやりのある心を育てるまちをつくります。
- ・心のかよいあう福祉のまちをつくります。
- ・力を合わせ和やかなまちづくりに進んで参加します。
- ・子どもたちが希望をもって元気に育つまちにします。

平成十八年七月十五日 制定

## スポーツ健康都市宣言

わたくしたち石狩市民は、石狩平野の爽やかな風と、豊かな自然の中で、スポーツと健康づくりを通じ、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざし、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 一、スポーツと健康づくりに励み、たくましいからだと豊かな心を育てます。
- 一、スポーツと健康づくりに親しみ、明るくすこやかな生活をおくれます。
- 一、スポーツと健康づくりを通じて、友情と交流の輪を世界に広げます。

平成九年十月十日 宣言

## 平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、石狩市民すべての心からの望みであります。

私たちは、世界唯一の被爆体験国として、二度と惨禍をくりかえさないよう共に誓い、全世界の人々へ戦争の根絶を訴えるとともに、人類が平和に暮らせる世界が実現されることを期待します。

私たち石狩市民は、海と川にはぐくまれた石狩の自然と豊かな郷土を大切に守り、恒久平和の実現を願い、非核三原則を守ることを誓い、ここに、石狩市が核兵器廃絶平和都市であることを宣言します。

平成六年六月二十四日 宣言

## 国内友好都市

### 石川県輪島市 2012(平成24)年8月27日提携

北前船による日本海文化交流がきっかけで平成3年に旧厚田村と旧門前町が友好町村締結。その後、両町村ともに市町村合併を経て、市民交流が続いています。



### 沖縄県恩納村 2013(平成25)年10月21日提携

国体の「ソフトボール」競技開催地(恩納村は昭和62年、石狩市は平成元年)になったことをきっかけに交流が始まり、平成3年から相互訪問による交流事業を続けています。



## 海外姉妹都市

### カナダ・キャンベルリバー市 1983(昭和58)年10月24日提携

昭和57年、札幌市で開催されたサケに関するイベントにキャンベルリバー市の関係者が出席し、その場で石狩を訪れたことが交流の始まりです。毎年高校生の交換留学事業、小中学生による少年少女親善訪問(ヤングアンバサダー)事業を行っています。



### ロシア・ワニノ市 1993(平成5)年6月3日提携

両市とも日本海に面した港を持つまちであり、この港を利用したまちづくりを互いに発展させるため、姉妹都市提携を結びました。

### 中国・<sup>ほうしゅう</sup>彭州市 2000(平成12)年10月24日提携

昭和59年から10年間彭州市からの農業研修生を受け入れたことから交流が始まり、関係者の相互訪問や児童の作品交換を続けてきました。平成29年からは、青少年の相互交流を行っています。

